

一般社団法人日本ヘンプ協会第4回学術講演会
＜講演者プロフィールと演題＞

●演題「難病治療における CBD の位置付け」

宇都宮セントラルクリニック 院長 佐藤 俊彦

経歴: 福島県生まれ。福島県立医科大学卒業。同大学放射線科に入局し、日本医科大学付属第一病院放射線科助手、獨協医科大学病院放射線科助手、鷺谷病院副院長を経て、1997年に宇都宮セントラルクリニック（現 医療法人D I C宇都宮セントラルクリニック）を開院。2011年、メディカルリサーチ株式会社を設立。2014年、NPO法人ピンクリボンうつのみや（現認定NPO法人ピンクリボンうつのみや）を設立。医療法人D I C宇都宮セントラルクリニック理事、メディカルリサーチ株式会社顧問、認定NPO法人ピンクリボンうつのみや理事長、株式会社遺伝子治療研究所取締役などを務める。

●演題「医療における CBD 活用の実際」

ナチュラルアートクリニック四谷 院長 御川 安仁

経歴:

平成7年	岡山大学医学部卒業
平成7年	岡山大学医学部麻酔蘇生学教室入局
平成7年	岡山赤十字病院 救命救急センター 麻酔科
平成9年	高知県立安芸病院 麻酔科
平成11年	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 麻酔科
平成14年	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 麻酔・蘇生学講座
平成15年	医療法人里仁会 興生総合病院 救急科 麻酔科
平成16年	国立国際医療センター 救急部 臨床研修指導医
平成17年	川口市立医療センター 特殊診療局救命救急センター 医長
平成18年	医療法人新松田会 愛宕病院 ER-救命蘇生センター 救急部長 統合医療科 麻酔科
平成27年	医療法人ふたまた会 ナチュラルアートクリニック開院

●演題:「ドーピング検査陽性となる CBD 製品の成分特性」

一般社団法人日本女性アスリート協会 参事

薬学博士・公認スポーツファーマシスト・薬剤師 錦織 功延

【学歴】

2006年3月 明治薬科大学薬学部 卒業
2008年3月 明治薬科大学大学院 薬学研究科修士課程修了
2023年3月 明治薬科大学大学院 薬学博士号取得

【職歴】

2008年5月-2010年5月 西部総合病院 薬剤科 薬剤師
2010年6月-2012年4月 北里大学北里研究所メディカルセンター 薬剤部 薬剤師
2012年5月-2015年9月 国立スポーツ科学センター メディカルセンター 薬剤師
2015年6月-現在 日本ライフセービング協会 アンチドーピング委員会 委員長
2015年10月-現在 明治薬科大学附属薬局 薬剤師
2016年4月-現在 日本アメリカンフットボール協会 アンチドーピング委員会 委員

【資格・その他】

2006年5月 薬剤師免許取得
2012年4月 公認スポーツファーマシスト取得
2023年3月 薬学博士号取得（明治薬科大学）
2023年6月 承認 Educator 取得

●演題:「新型コロナウイルスの最新状況と COVID-19」治療における CBD の可能性」

昭和大学名誉教授 二木 芳人

【略歴】

1949（昭和24年） 大阪市で出生
1976（昭和51年） 川崎医科大学 卒業
1982（昭和57年） 川崎医科大学 呼吸器内科 助手
1983（昭和58年） 川崎医科大学 呼吸器内科 講師
1988（昭和63年）～1990まで 米国 New York 州、New York 市 Memorial Sloan-Kettering Cancer Center 留学
1990（平成2年） 川崎医科大学 保健医療学、呼吸器内科 講師
2006（平成18年） 4月より倉敷第一病院 呼吸器センター 副センター長
2006（平成18年） 11月より昭和大学 医学部 臨床感染症学講座（寄付講座） 教授
2012（平成24年） 4月より昭和大学病院 感染管理部門 部門長（兼務）
9月より昭和大学 医学部 内科学講座 臨床感染症学部門 教授
（内科学講座再編成により講座名称変更、寄付講座は存続）
2017（平成29年） 4月より昭和大学 医学部 内科学講座 臨床感染症学部門が正規講座に昇格、同時に 特任教授に就任
2020（令和2年） 3月で昭和大学および昭和大学病院 退職
2020（令和2年） 4月より昭和大学医学部 内科学講座 臨床感染症学部門 客員教授

2024（令和5年） 4月より昭和大学名誉教授 就任

主な学会・学術集会の主催

2010年 第57回日本化学療法学会東日本支部総会会長

2013年 第163回日本結核病学会関東支部会・第203回日本呼吸器学会関東地方会合同学会会長

2013年 第57回日本医真菌学会総会会長

2014年 第1回東京難治性感染症研究会会長

2015年 第49回緑膿菌研究会総会長

2015年 第63回日本化学療法学会総会会長など

専門分野（最近の研究テーマ）

適正抗菌薬療法の推進（Antimicrobial Stewardship Program の実践など含む）

院内感染コントロール（多剤耐性菌、MRSA、CDI、インフルエンザなど）

感染症に関する卒前・卒後・生涯教育の推進、

新型コロナウイルス感染症の疫学と臨床、感染対策など

●演題：「緊急提言：日本における CBD 市場を守るために～CBD 原料に THC が 1ppm 以上混入しない事を担保するために必要なこと」

昭和大学薬学部 教授・薬学博士・薬剤師 佐藤 均

日本ヘンプ協会 理事長

タイ・マヒドン大学客員教授、上海大学客員教授

【学歴】

- 昭和58年3月 東京大学薬学部 卒業
- 昭和60年3月 東京大学薬学系研究科修士課程修了

【職歴】

- 昭和61年4月 金沢大学薬学部（製剤学教室）・助手
- 平成 3年7月 富山医科薬科大学附属病院薬剤部・助手
- 平成 3年9月 米国国立衛生研究所（NIH）・国立ガン研究所（NCI）奨励研究員
- 平成 4年9月 スイス・バーゼル研究所・客員研究員
- 平成 9年7月 東京大学医学部・助教授（東京大学医学部附属病院副薬剤部長兼任）
- 平成12年3月 昭和大学薬学部・教授（薬物動態学教室）

【資格その他】

- 昭和63年6月 薬剤師免許取得
- 平成 3年3月 薬学博士号取得（東京大学）

- 現在までに、薬剤師国家試験作成委員、厚生労働省専門委員、国家公務員採用試験作成委員（人事院委嘱）、指導薬剤師（日本医療薬学会 委嘱）などを歴任。
- 医薬品メーカー開発顧問、大手調剤薬局薬剤師指導顧問大手製薬メーカーの顧問などを歴任。

【所属学会】

日本薬学会、日本薬剤学会、日本薬物動態学会、日本臨床薬理学会、日本化学療法学会、日本臨床カンナビノイド学会(副理事長)など。

【研究分野】

臨床薬物動態学、臨床薬剤学、臨床薬理学、薬物情報学、ファーマコメト릭ス、薬物送達学、ゲノム薬理学

【研究概要】

これまでに医薬品の臨床開発及び適正使用に関し、国内外の学術雑誌に約 350 編の論文を發表し、約 35 冊の著書（専門分野の教科書を含む）を發刊。2017 年には「カンナビノイドの科学」を出版。

[Cannabinoid-related publications]

Nagao M, Nakano Y, Tajima M, Sugiyama E, Sato VH, Inada M, Sato H. Nonlinear Disposition and Metabolic Interactions of Cannabidiol Through CYP3A Inhibition In Vivo in Rats. Cannabis Cannabinoid Res. 2020 Dec 15;5(4):318-325.

Nakano Y, Tajima M, Sugiyama E, Sato VH, Sato H. Development of a Novel Nano-emulsion Formulation to Improve Intestinal Absorption of Cannabidiol. Med Cannabis Cannabinoids. 2019 Apr 4;2(1):35-42.

Sato H :“Sciences of Cannabinoids: Utility of hemp to Medicine, Healthcare, and Industry” Hitoshi Sato, Ed. Tsukiji Shobou Publishing, Japan (2015).

Sato H. “Myths of Cannabidiol” (Nutrient Library-29), Eiyou Shobou Publishing, Japan (2021).

Sato H. “Powers of Cannabidiol for Beauty” (Nutrient Library-32), Eiyou Shobou Publishing, Japan (2022)

※記載された内容は一部変更となる可能性がございます。予めご了承ください。